



広 報 ござがわ

発行/編集 古座川町役場総務課/広報編集委員会 電話(代) 0735-72-0180

2010

1

No.109

住みよい古座川を目指して

新年あけましておめでとうございます。皆様方には健やかに新春をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

昨年8月30日に衆議院総選挙で自民党から民主党に政権が変わり今までとは違った形で政策が進められようとしています。

急変する政策をしっかりと見極め、町づくりに取り組んでいかなければなりません。昨年、28箇所地区懇談会を行い、町民の皆様の意見を聞いてまいりました。過疎化・高齢化を実感する一方、若者の定住や子育て支援、高齢者世帯に対する施策、収入源としての産業の振興、インフラ整備など、多くの課題が残されていることを実感しました。

まず子育て支援としては、専従の職員を高池保育所内に新たに配置しました。今後は、保育所間の園児の交流保育に取り組みます。学校教育では、障害児教育を支援する補助教員の増員を行いました。また、小学校児童によって新たに結成されたミドリワキッズキャンプ（緑の少年団）の活動や交流学習などに取り組み、幅広い情緒豊かな子供を育てていきます。

高齢者に対しては、居宅周辺の整備や居宅内を改修する住環境整備事業や、高齢者配食サービス事業の対象者の拡大と予算増額を行いました。今後も高齢者のニーズに応じた施策を進めていきます。

特産物であるゆず・しきみ・せんりょうについては、市場調査と販売に積極的に取り組んでいきます。一方林業では、高性能林業機械三種がそろい、低コスト林業による木材の有利な販売が期待されます。また、新しい試みとして、古座川町産のハチミツが東京の玉川大学でプレミア商品として販売されました。

地震や火災、緊急時に備え防火水槽やヘリポート、携帯電話のアンテナ設置など生活を取り巻くインフラについても整備を計画的に進めているところです。今後、町道の整備と合わせ、県道整備の働きかけを積極的に行っていきたくと思っています。

地区懇談会で多く聞かれたのは、古座川についての意見でした。清らかに流れる古座川を守っていくために、町民一人ひとりが今何をすべきかをみんな話合っていきたいと思っています。

この一年が古座川町にとって未来に開ける年となること、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして新春のご挨拶といたします。



古座川町長 武田 丈夫



古座川町斎場が完成

平成21年2月より古座川町鶴川に建設しておりました古座川町斎場が、11月30日に完成し、12月9日に開業いたしました。

開業に先立ち12月8日に見学会を開催し、約150名の見学者が訪れました。

斎場は、総敷地面積が3734平方メートルあり、そのうち建物の述べ床面積は450平方メートルです。

設備は火葬炉2基のほか炉前ホール、収骨処置室、待合室等を備えています。

総事業費は建築工事、火葬炉工事、電気工事、設計管理業務、周辺の整備工事などあわせて2億2,146万円となり、その



古座川町斎場

うち1億5,570万円については、国からの地域活性化生活対策交付金として、交付を受けています。

今後はご遺族の追想の場として、周辺の環境保全に細心の注意を払い、施設の適切な運営に努めてまいります。

【住民福祉課】

秋の一大イベント 古座川の秋まつり開催

11月22日（日曜日）、明神小・中学校を会場に、第24回古座川の秋まつりが開催されました。

今年は何日前から週末の悪い予報に関係者はやきもきさせられました。当日は何とか天候も保ち、おかげさまで無事終了することができました。住民の皆様には多数のご来場、ご参加をいただきました。ありがとうございました。

今年度事業で明神小学校のグラウンドが緑化されたため、今年の屋外会場は芝



MIDORIWA 結成式

生を取り囲む形に配置を変えて行われました。緑の芝生に出店の白いテントがよく映え、買い物もしやすいと来場者には大変好評でした。催しものでは、平成23年度実施の全国植樹祭に向けて、町緑化推進協議会、町みどりの少年団、およびそ

れら緑化推進活動の趣旨に賛同する者で構成する「MIDORIWA（ミドリワ）」の結成式が行われ、竹製のスタードームを利用したお披露目のパフォーマンスで会場を盛り上げました。特産品をはじめ出店コーナーでは早々に完売してしまいう店も見られ、お祭り最後の恒例「野菜せり」まで大勢の来場者でにぎわいました。

来年の秋まつりもどうぞよろしくお願いたします。

【産業振興課】

町政懇談会が終了

6月23日に松根地区から始まった町政懇談会は、11月24日の高池下部で終了しました。

町内28地区を回り、569人の住民の方々が参加して下さいました。

懇談会の中で多く聞かれたのは、「古座川」と「獣

害」についての意見でした。住民の方々の古座川に対する想いや、獣害による身近な悩みの実情を知ることができました。

住民の皆様の様々なご意見については、今後の町行政の運営に活用していきたいと思っております。

【総務課】



明神地区の懇談会

災害復旧へ工事始まる

平成21年7月の梅雨前線活発化に伴う集中豪雨により、下表の2箇所町道災害が発生しました。

復旧へ向けて工事が始まりましたのでお知らせします。

【建設課】

	町道南平線	町道下露小川線
地区	南平地区	大桑地区
被災状況	路側決壊により幅員狭小	斜面崩壊により通行止め
工期	平成22年2月24日まで	平成22年3月16日まで

**町道下露小川線
道路改良工事**

町道下露小川線道路改良工事が始まりました。

本路線は、七川地区と小川地区を結ぶ重要な生活道路であると同時に、木材運搬等で多くの大型車両が通行しています。

工事箇所は宇筒井地区の宇筒井橋で、幅員が狭く老朽化しており、架け替えることとなりました。

工事期間中ご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願ひします。

【建設課】



工事が進む宇筒井橋

「日本年金機構」が平成22年1月1日からスタート

社会保険庁が廃止され、新たに「日本年金機構」がスタートします。

国民の皆様への信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織、人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

現在あるお近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。

【住民福祉課】



AED（自動体外式除細動器）を寄贈いただきました

10月23日に、日本赤十字社和歌山県支部より、AED1台を古座川町に寄贈いただきました。寄贈いただいたAEDは、現在古座川町民体育館玄関に設置しています。

また11月18日には、日本赤十字社和歌山県支部より講師の方が来町し、AED使用方法の講習会を開催しました。

【住民福祉課】



AED講習会

**ブックスタート
ボランティアの募集**

ブックスタートは、地域に生まれた全ての赤ちゃんに保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動です。古座川町では串本町と合同で、平成17年から実施しています。

乳幼児健診の場で、赤ちゃんや保護者に、絵本を開く体験と一緒にあたたかなメッセージを伝え、絵本を手渡してくださるボランティア

さんを募集しています。

ご協力いただける方は、次の日程の学習会にご参加ください。

○日時 1月21日（木）
午後1時30分

○場所 串本町地域保健福祉センター2階

○講師 NPOブックスタート地域支援担当者

※ご参加いただける方は、1月15日（金）までに住民福祉課保健師までお申込みください。

【住民福祉課】

漁師による植樹事業

12月4日、松根地区で和歌山東漁協古座支所の方達による植樹事業が行われました。

この事業は、計画的に輪番制休漁等を実施し、休漁時には資源回復・漁場生産力向上のための活動を行い、持続的な漁業生産を確保していくことを目的に、漁業

協同組合連合会等が実施しているものです。

当日は、組合員とその家族18名が参加して、森林組合の指導のもと、ケヤキ・トチノキ・カゴノキをそれぞれ20本植えた後、鹿などの動物による被害を防ぐための保護管を木の苗にまく作業を行いました。



植樹作業を行う漁師のみなさん

**低コスト林業研修会
高性能林業機械3種が共演**

12月7日、大桑地区において平成21年度低コスト林業研修会が開催され、町内外から森林・林業関係者等約50名が参加しました。

- ① 一定面積以上の施業規模の確保
- ② 必要な作業道の開設
- ③ 高性能林業機械を利用した列状間伐

について説明の後、作業員による高性能林業機械の作業実演が行われました。

南紀森林組合には、平成19年度にスイングヤード、平成20年度にフォワーダが導入されており、今年度ハ-

高性能林業機械を利用して生産性を向上し、森林所有者に少しでも還元できるように取り組みたいと話しました。

南紀森林組合から、低コスト林業の要件

- ① 一定面積以上の施業規模の確保
- ② 必要な作業道の開設
- ③ 高性能林業機械を利用した列状間伐

町長は区長等に対して施業規模の確保について協力を呼びかけ、寺田森林組合長は、高



3種の高性能林業機械

**孤立集落通信確保用
無線機を設置**

地震などの災害時に、集落が孤立し電話等も使用できない場合でも、町役場の防災行政無線と通信(連絡)が出来る無線機を町内25箇所(孤立する可能性のある集落の集会所等)へ設置しました。



設置した無線機

この無線機は、停電時などでもバッテリーで使用することが可能で、また、バッテリーが無くなった場合でも、車のシガーライター電源で使用することも可能です。

今後も、集落が孤立した場合を想定して役場とスムーズに通信が出来るように通信訓練等を実施していきます。町内の設置場所は左表の25箇所です。

11月27日には、町内4箇所、取扱説明会を行いました。

【総務課】

明神地区	高池地区
中崎	楠
立合川	三尾川地区
峯	南平
小川地区	小節川
山手	長追
椎平	真砂
洞尾	七川地区
長	佐田
滝の拝	添野川
西赤木	平井
田川	下露
小森川	西川
宇筒井	成川
大桑	松根

所得税の確定申告のお知らせ

○確定申告受付期間は
3月15日（月）までです。

出張申告相談日程表

	サラリーマンや年金受給者のための還付申告相談	所得税・消費税の確定申告相談
日時	平成22年2月8日（月）	平成22年2月26日（金）
	午前 9時30分 午後 1時00分	～ 12時15分 ～ 3時00分
場所	古座川町中央公民館	

ご来場の際には、送付しました確定申告書及びその関係書類、前年分の申告書

の控え、源泉徴収票（給与・年金収入のある場合）、所得控除に係る各種証明書などの申告書の作成に必要な書類と筆記用具、印鑑、電卓、眼鏡等をご持参ください。

※注意事項※

①土地・建物・株式等を売却された所得、山林所得、贈与税や相続税に関するアドバイスは行っておりませんので税務署までお越しください。
②受付は、混雑状況等により早めに締め切らせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先
新宮税務署 個人課税部門
0735-22-5261（代表）
役場財政課 町県民税係

税金の豆知識 その3

町では、住民の皆様には様々な税金や料金を納めて頂いております。これらの税について、よりいっそうの御理解を頂けたらとシリーズでお知らせしています。今回は「国民健康保険税」です。

◎国民健康保険税

国民健康保険税（以下、国保）は、国保加入者の皆様が病気やけがをしたときの医療費等に充てられる大切な財源です。

○納税義務者
平成20年度の医療制度改革により国保の加入年齢が0歳以上75歳未満になりましたが、納税義務者は、国保に加入している方のいる世帯の世帯主です。

○計算方法

国保税は、『医療分』と『後期高齢者支援金分』と『介護分』の3つの区分に分かれています。それぞれ

の区分ごとに、所得割・資産割・均等割・平等割が計算され、その合計が、一年間の国保税額となります。『介護分』については、40歳以上65歳未満の方が対象となります。

所得割	資産割	均等割	平等割
国保加入者の前年の所得から基礎控除を引いたもの×税率	当該年度の固定資産税（土地・家屋）の合計額×税率	国保加入者数×税額	一世帯当たりの額

なお、均等割額・平等割額については、所得に応じた7割・5割・2割の軽減措置があります。

○納期

毎年、7月に税額が決定され、7月から翌年3月の9期に分けて納付していただきます。

※65歳から75歳未満の年金受給者で一定の条件に該当する方については、年金受給月（年6回）に天引き（特別徴収）となります。

【財政課】

○町税等の納期限のお知らせ○

税目	期別	納期限
町県民税	第4期	平成22年2月1日
国民健康保険税	第7期	
介護保険料	第10期	
後期高齢者医療保険料	第7期	平成22年3月1日
国民健康保険税	第8期	
介護保険料	第11期	
後期高齢者医療保険料	第8期	

* 納期限を過ぎると、督促手数料や延滞金が増加される場合があります。【財政課】

職員紹介

平成21年4月から、古座川町役場で働いている岡本圭司です。総務課で企画関係の業務を担当しています。10月で受付が終了した定額給付金も担当していました。4月に採用されてから、早いもので1年が経過しようとしています。まだまだわからないことばかりです。



総務課
岡本 圭司

平成21年4月から古座川町役場で働いている西川徹です。建設課で主に会計事務、庶務業務を担当しています。出身が大阪で、土地を含め、まだまだ古座川町のことについて勉強中ですが、一つ一つ仕事を学び経験を積んで、住民の方々のために働きたいと思えますので、宜しくお願い致します。



建設課
西川 徹

コウノトリ飛来

11月20日に月野瀬の河原にコウノトリが飛来しました。

兵庫県豊岡市で放鳥され、4日かけて古座川にやってきました。

珍しいコウノトリを見物するために、多くの人が双眼鏡やカメラを手に、河原

を眺めていました。

古座川を飛び去った後、12月14日に三重県鳥羽市で確認されています。

【総務課】



農林水産省との

人事交流事業

市町村と農林水産省との人事交流事業として、古座

川町役場から、黒澤和寛が農林水産省に出向しています。

この事業は30才までの若手職員の人材育成が目的で、期間は平成21年4月から2年間となっています。

近況報告

組など非常に幅広い分野にわたっています。

4月から農林水産省に出向しています。黒澤和寛です。農林水産省は、本省と各地方組織などを合わせると約2万5千人を有する組織です。業務範囲は農業、林業、水産業に大きく分けられますが、農業だけでも農業振興、食料の安定供給、食の安全、農村地域社会の発展、食品産業の振興、農業分野における環境への取

現在、私は「食料・農業・農村白書」を執筆する部署にいます。当白書は、毎年国会へ報告することが義務付けられている「法定白書」と呼ばれるものの一つで、農業だけではなく、食料や農産物の生産現場である農村について、それらの動向や政府の施策などを解説しています。

公表は、毎年5月頃です。



【総務課】
黒澤 和寛

男女共同参画いきいき大賞 ベストグループ受賞

農事組合法人「古座川ゆず平井の里」が男女共同参画いきいき大賞ベストグループ賞を受賞しました。

11月21日に和歌山ビッグホエールで開催された、「りいぶるフェスタ2009」の会場で、副代表の久保田省悟さんが、仁坂知事

より表彰を受けました。 ※男女共同参画いきいき大賞とは？ 家庭・学校・地域で積極的に男女共同参画を推進している個人、団体を募集し、その功績を顕彰しているものです。

【住民福祉課】



知事から表彰を受ける久保田氏